

石山・芸術の森地域 **芸術の森部会 ニュース**

石山・芸術の森地域では、平成26年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、それ以降、地域の4小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。また、平成27年度からは「部会制」を導入し、「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～ このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています ～

**第9回芸術の森部会  
について**

6月6日（火曜日）午後6時30分から、芸術の森地区会館（芸術の森地区まちづくりセンター）で第9回芸術の森部会を開催し、今年度の検討スケジュール等の検討を行いました。

**地域の皆さまから  
寄せられた意見等  
について（報告）**

2月に開催した第8回芸術の森部会以降、地域から寄せられたご意見等について、事務局から3件の報告がありました。

- 「ときわスポーツコミュニティ広場」での新設校建設は決定なのか。いつ工事が開始され、開校となるのか。何階建ての建物になるのか。土地の段差が大きく、建設可能か心配である。

（平成29年3月 メール）

**（事務局回答）**

新設校の建設は正式に決定しました。今年度から設計を行い、平成30年度から工事を開始、開校は33年4月の予定です。階数は設計を行う際に検討し、段差については児童の安全確保に十分留意します。

- 部会から、小中一貫校として統合を要望する旨が教育委員会に提出された経緯や、どの程度の議論が行われたのかを知りたい。
- 小中一貫校と現在の小学校との違い等について、地域の保護者や学校に直接説明を行っているのか。
- 検討委員は町内会やPTA等の各団体の代表として参加していると思うが、団体内ではどのように意見集約を行ったのか。
- 検討委員会はなぜ非公開なのか。また、3月に地域で行う説明会に検討委員は出席するのか。委員との直接の意見交換を求める。

（平成29年3月 手紙）

**（事務局回答）**

小中一貫教育・小中一貫校は、教育環境の向上や、地域の一層の魅力向上を目指し、部会から要望があったものです。小中一貫教育は札幌市で検討中であるため、部会では国の制度や他都市事例等を基に検討し、その経過等は当ニュースでお伝えしてきました。

各団体内での意見集約の方法は把握しておりませんが、当ニュース等を用いて広く地域の皆さまにお知らせし、団体にとどまらず意見募集をしております。また、部会は率直な意見交換を行うため、非公開としております。3月の説明会は教育委員会の主催であり、検討委員の参加は任意ですが、いただいたご意見は部会で報告いたします。

- 「ときわスポーツコミュニティ広場」の近くは、毎朝車がスピードを出して走っており、横断歩道への信号設置や、速度規制等が必要だと思う。(平成29年4月 メール)

**(事務局回答)**

信号機の設置や速度規制は北海道警察が行っています。子どもの通学安全については十分に配慮し、部会等での検討を踏まえ、教育委員会としても必要に応じて警察への要望等を行います。

**今年度の検討スケジュールについて**

事務局から、今年度の検討スケジュール案の説明がありました。

<主な内容>

- 部会は全4回(6月・9月・11月・3月)の開催を想定している。
- 主に「常盤小と石山東小の跡活用」について検討いただくほか、札幌市での小中一貫教育の検討状況に関して報告する。
- ときわスポーツコミュニティ広場で埋蔵文化財試掘※ や測量を行うため、各々1週間程度、同広場を閉鎖予定。子どもたちの活動に影響が生じないように、作業時期は可能な限り配慮したい。
- 芸術の森部会と同日に、新設校の施設について検討する「芸術の森地区新築検討協議会」を開催する。(詳細は4ページを参照)

※ 開発事業を行う際に必要な調査であり、文化財(遺跡等)の有無を調査するもの

**委員から寄せられた意見など**

**◆今年度の検討スケジュールについて**

第9回部会では、委員から以下のご質問、ご意見がありました。

- 今年度、校名の検討は行わないのか。
- 小中一貫校になった場合、小学校・中学校の校名をそろえなければならないのか。

**(事務局回答)**

札幌市では、現在、小中一貫教育の方向性やモデル校の選定先等を検討中ですが、もし仮に、芸術の森地区に小中一貫教育が導入されたならば、校名の検討にも大きく関わってくるものと考えています。

他都市の例を見ますと、小中一貫校の校名は「小学校・中学校で1つの校名をつける」「小学校・中学校とも現在の校名を使用しつつ、別途『〇〇学園』等の愛称をつける」「小学校・中学校とも現在の校名をそのまま使用する」など様々なパターンがあります。札幌市がどのパターンを採用するかは、今後の小中一貫教育の検討結果によるため、校名はその状況を踏まえて検討することを想定したものです。

- 校名を早急に決めなければ問題が生じる、というものではない。札幌市での小中一貫教育の検討を待つ形でよいのではないか。
- 小中一貫教育については名前だけが先行し、「特別な教育だ」という誤った認識もある。地域に説明するための資料等がほしい。

**(事務局回答)**

小中一貫教育については札幌市で現在検討中であるため、具体的な回答は困難ですが、文部科学省の調査では「小学校・中学校間での交流の深まり」「中学校進学への不安感の減少」「小学校・中学校の教員間での協力意識の高まり」等の結果が報告されています。

- 埋蔵文化財試掘で何か発見された場合、工事ができなくなるのか。

**(事務局回答)**

万が一発見された場合は、工事の期間に影響する可能性があります。

- 学校の体育館では様々なサークルが活動している。統合により、常盤小と石山東小で活動しているサークルが1つの体育館で活動することになるが、過去の事例ではどのように対応したのか。

**(事務局回答)**

次回部会までに調査し、お伝えさせていただきます。

**決定事項**

以上の検討から、第9回芸術の森部会では以下を確認しました。

今年度は跡活用などを中心に検討し、札幌市での小中一貫教育の検討状況も注視する。

**第10回の芸術の森部会について**

第10回の芸術の森部会は、常盤小・石山東小の跡活用等を議題とし、9～10月ころの開催を予定しています。

**今年度の委員一覧**

今年度の芸術の森部会は、下表の16名で運営していきます。

(敬称略)

団体名	氏名	氏名
芸術の森地区連合会	【部会長】佐久間 久幸 (会長)	大野 勝 (副会長)
同上	下総 仁志 (副会長)	山屋 忠意 (会計部長)
同上	佐藤 優司 (体育部長・防犯防災部長)	白木 義克 (体育副部長)
同上	齊田 雅也 (監事)	正源 初恵 (まちづくりセンター所長)
常盤小学校PTA	中野 吉朗 (会長)	澤村 和美 (副会長)
石山東小学校PTA	船田 幸治 (会長)	小笠原 由利子 (会計)
学校長	藤島 健志 (常盤小学校)	小松 靖一 (石山東小学校)
有識者	大室 道夫 (幌西小学校長・統合経験者)	北嶋 雅見 (司会)

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

**石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局**

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837 / E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載します。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>

# 「芸術の森地区新築検討協議会」について (お知らせ)

## ■ 新築検討協議会とは

地域住民や学校関係者、保護者等からなる「新築検討委員会」と教育委員会等が、新設校の配置や設計について意見交換を行う場です。委員については、これまでの検討経緯等を考慮し、芸術の森部会の委員にご兼任いただいています。

## ■ 今年度のスケジュール

時 期	内 容
平成 29 年 6 月 ↓	【第 1 回】 新設校の大まかな施設配置について検討・決定 《第 1 回でいただいた意見を踏まえ、基本設計に着手》
平成 29 年 12 月頃	【第 2 回】 教室の配置等について協議・検討
平成 30 年 2 月頃	【住民説明会】 新設校の配置案・平面案等を説明

## ■ 検討内容および決定事項

第 1 回新築検討協議会では、新設校の校舎や体育館、グラウンドの配置について検討し、以下のとおり決定しました。

### 【決定事項】

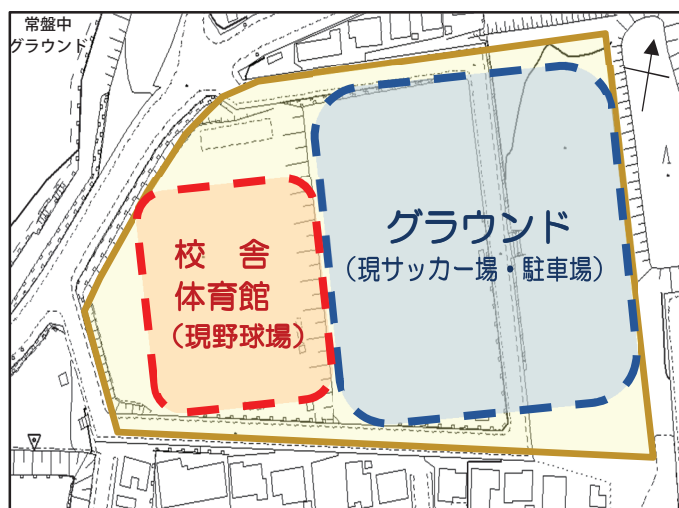
ときわスポーツコミュニティ広場の野球場部分に「校舎・体育館」を、  
サッカー場・駐車場部分に「グラウンド」を配置する。

## ■ 【配置のポイント】

- 校舎・体育館を現在の野球場に置くことで国道側に児童用玄関の設置が可能となる。それにより児童と車両の動線を分離し、敷地内の事故を防止する
- グラウンドは、現在のサッカー場と駐車場を同じ高さにそろえて整備することで、全市平均である 8,000 m<sup>2</sup>程度の広さを確保できる
- 災害時に、グラウンドへの避難経路や救援物資の搬入経路を確保しやすい
- 校舎等の建築に伴う周辺住宅への日影の影響が最も少ない

## 新設校予定地

(ときわスポーツコミュニティ広場)



## ■ 新築検討協議会についてのご意見・ご質問等の連絡先 ■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (計画係)

TEL : 011-211-3835 FAX : 011-211-3837 E-mail : kyoiku-keikaku@city.sapporo.jp